

古代東海道の駅路を歩こう！32下総・常陸編③

日 時:2009年2月28日(土)11時～17時

集 合:JR常磐線我孫子駅改札付近

コース:我孫子駅～水戸街道・成田街道追分～高野山1号墳石室～東我孫子の一里塚～都部(いちぶ)～中峠(なかびょう)台鹿島前遺跡～相馬郡衙関連遺跡(湖北高校)～将門神社～将門の井戸～葦不合神社～布佐一里塚～栄橋～JR布佐駅<街道ルート約13km>

その他:悪天候(雨天、降雪)の場合は翌日に延期します。3月1日も悪天候の場合は、4月5日(日)に延期します。判断がつかない場合は主催者までご連絡下さい。

今回主催:梶川義実

沿道の見所など

JR我孫子駅:1896年日本鉄道海岸線の駅として開業。構内営業の弥生軒では山下清が働いていた。唐揚げそばは有名。

水戸街道・成田街道追分:初期の水戸街道はさらに東進し布佐で渡河していた。天和年間(1681～1683)より、ルートが変わった。我孫子宿については下記参照。

<http://hyakkaido.travel.coocan.jp/mitodoutyu4abikofujisiro.htm>

高野山1号墳石室:我孫子中学校校内にある。前方後円墳の石室を移設したもの。

東我孫子の一里塚:ルート変更前の水戸街道の一里塚の跡。他に中里と布佐にある。

中峠台鹿島前遺跡:道路遺構が発掘された。相馬郡衙との関連が想定されるが、区画整理事業が行われたため、痕跡はない。古代交通研究台7号p73～に報告がある。

http://books.google.co.jp/books?id=XLkWUQ7YC0AC&pg=PA1&lpg=PA1&dq=%E9%B9%BF%E5%B3%B6%E5%89%8D%E9%81%BA%E8%B7%A1%E3%81%AE%E9%81%93%E8%B7%AF%E8%B7%A1&source=web&ots=htaM047AXB&sig=pPXeQARrkaaXDQUZR1gmsFAdoUk&hl=ja&ei=HQePSchH4Aom9kAXt8YSoDA&sa=X&oi=book_result&resnum=6&ct=result

相馬郡衙関連遺跡:湖北高校建設に先立ち行われた発掘調査で発見された。倉庫の跡がたくさん出てきたが、政庁などは不明であり、そもそも全体の規模も解っていない。遺跡保存のため、高校の設計は変更された。遺跡そのものは、保存されている。地名の日秀は「ひびり」と読む。

<http://www.kohoku-h.com/com/com.html>

将門神社・将門の井戸:平将門の霊が、明神下から日秀まで手賀沼を騎馬で渡り、丘の上で日の出を拝したとの伝説がある。将門の井戸は、932年に軍用に開いた井戸との伝承がある。

葦不合神社:「ふきあえず」神社。祭神は、うがやふきあえずのみこと。古事記では神武天皇の父とされる。街道沿いに鳥居があるが、本殿はかなり奥。拝殿は巖島神社から移築したもので、立派な彫刻がある。街道沿いには多数の庚申塔がある。

気象台記念公園:新田次郎が青年時代に勤務した。

布佐一里塚:千葉県が建てた石碑がある。

栄橋:1930年に架橋された。現在の橋は1971年に架け替えられた。

参考文献:千葉県の歴史(千葉県)、柏市史(柏市)、東葛の道しるべ(金田英二)